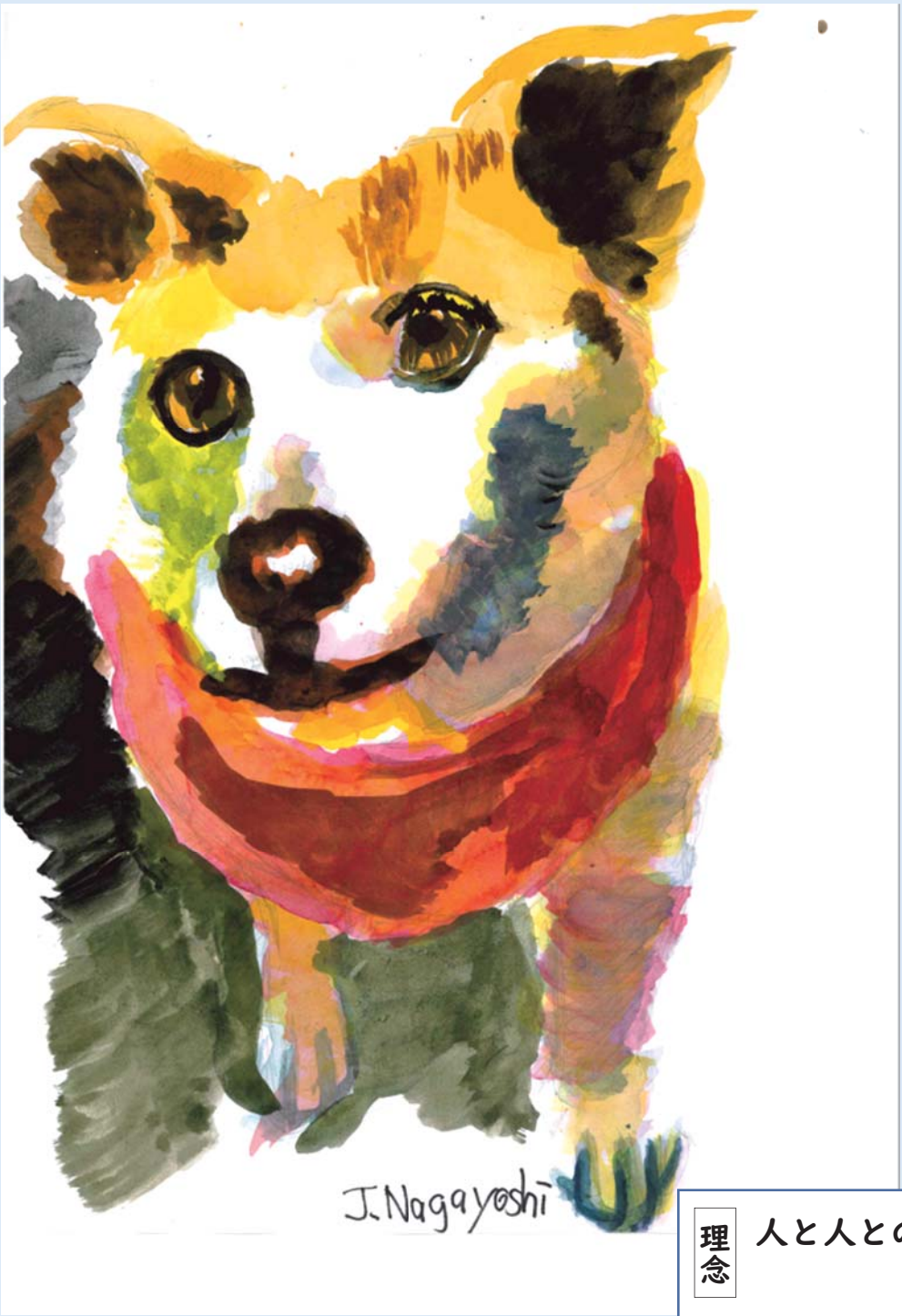
ふれあいネットワーク
曽於市社会福祉協議会情報紙
第87号
令和５年５月15日

社協シンボルマーク

手と手

やさしさ
100パーセント



今号の表紙絵

財部町

永吉　淳一さんの作品

題名「**愛犬るる**」

２年前に保護犬だったるるを引き取りました。
私が脳梗塞になった後もるるが癒し、元気をくれました。
そんなるるが今年に入り急逝してしまい、愛犬への想いを込めて描きました。

理念　**人と人とのつながりを大切に　地域と共に歩む**

発行／社会福祉法人 曽於市社会福祉協議会
曽於市財部町南俣504番地1（財部保健福祉センター内）
TEL：0986-72-0460･0480　FAX：0986-72-0425
E-mail：sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL：http://soo-shakyo.or.jp/

この情報紙は、地域住民の皆様からの
赤い羽根共同募金を財源に発行しています。

令和5年度事業計画

曽於市社協は、「**人と人とのつながりを大切に　地域と共に歩む**」の理念のもと、
地域福祉推進の中核を担う組織として、令和5年度は、下記のことを基本方針としています。

○地域福祉関係団体及び行政等と連携・協働し、福祉の総合相談窓口機能の強化と住民の権利擁護支援に努め、福祉を支える人材の確保・育成にも取り組みます。

○生活のしづらさを抱えた方や経済的な困窮にある方々に対して、相談対応とフォローアップ支援を実施します。

○持続可能かつ地域から信頼され、期待される社協へとさらに発展・強化してまいります。

○一人ひとりの思いに寄り添いながら、すべての住民が尊厳あるその人らしい生活が継続できる地域づくりを推進します。

法人運営部門のとりくみ

- 透明性の高い法人運営
- 利用料や補助金、委託料など財源確保に向けた取り組み
- 定期的な経営分析会議の開催
- 職員勤務評定・キャリアパス制度の充実
- 働きやすい環境の整備
- 効果的、効率的な執行と経費削減
- 職員育成マニュアルによる人材育成
- 啓発活動及び情報公開の充実

地域福祉推進部門のとりくみ

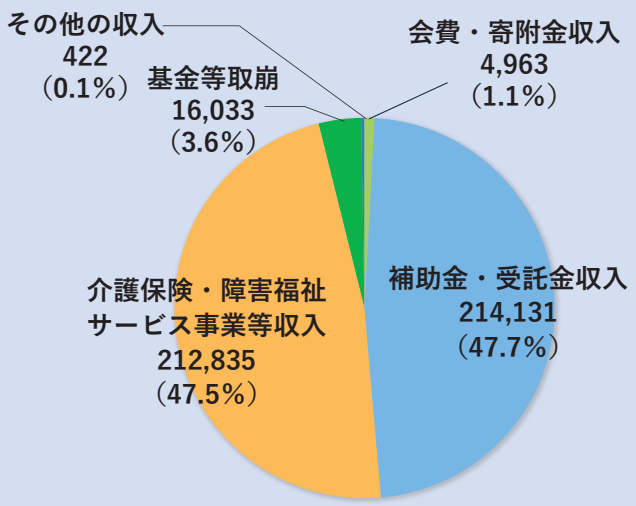
- 地域住民を主体とした、他の社会福祉法人・機関を巻き込んだ重層的なネットワークの構築
- 市内26校区の社会福祉協議会活動の充実に向けた支援の強化
- 住民主体による見守り活動や小地域での支え合いの仕組みづくり
- 課題解決・地域のつながりの構築に向けた社協らしいサービスの創設
- 深刻化する少子高齢化と人口減少による地域課題を把握し、地域住民とともにその解決を図る
- 生きづらさを抱えながら生活している方々の支援
- 住民同士が支え合い、役割をもち、自分らしく生活していけるようなコミュニティの育成

生活相談支援センターのとりくみ

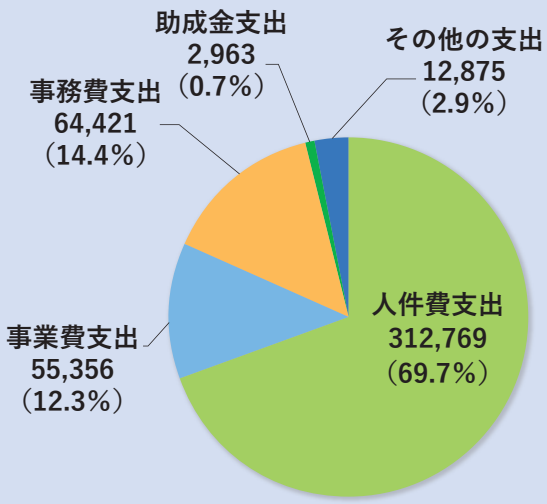
- 自立相談支援事業｜生活に困りごとや不安を抱えている方の相談や自立に向けた支援
- 一時生活支援事業｜住居を持たない方などへ一時的に宿泊場所を提供
- 就労準備支援事業｜就労に向けた準備が整っていない方などへの就労に向けた支援
- 家計改善支援事業｜家計に問題を抱える方などの家計の状況の見直しや生活再建に向けた支援
- 関係機関のネットワークづくり、社会資源の開発

令和５年度予算

（単位：千円）



収入の部｜448,384千円



支出の部｜448,384千円

在宅福祉サービス部門のとりくみ

- 居宅介護支援事業｜介護が必要な方のプラン作成などのサービス
- 訪問介護事業｜介護が必要な方の在宅への訪問型サービス
- 訪問入浴介護事業｜介護が必要な方の在宅への訪問入浴サービス
- 通所介護事業｜介護が必要な方の通所型サービス
- 小規模多機能型居宅介護事業｜訪問・通所・宿泊を一体的に提供できるサービス
- 居宅介護事業｜障がいを持つ方の在宅への訪問型サービス
- 訪問入浴サービス事業｜障がいを持つ方の在宅への訪問入浴サービス
- 訪問給食サービス事業｜配食サービス

地域包括支援センターのとりくみ

- 介護予防、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務
- 総合相談支援業務
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- 介護予防・日常生活支援総合事業に関する協力
- 生活支援体制整備事業に関する協力
- 高齢者実態把握事業
- 権利擁護業務
- 高齢者福祉サービスに関する実態調査業務
- 在宅医療・介護連携推進事業に関する協力
- 認知症施策推進事業に関する協力

権利擁護センターのとりくみ

- 福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）｜判断能力が低下した方への支援
- 法人後見に関する事業｜意思決定が困難な方の財産管理や身上保護を行い、権利擁護に努める
- 成年後見制度の利用促進に係る中核機関｜権利擁護を支援するための地域連携ネットワークを構築

ご存じですか？

訪問介護の仕事

訪問介護事業所では、訪問介護員（以下ヘルパー）が要介護認定を受けている高齢者の自宅を訪問して介護サービスを提供しています。

ヘルパーの行う介護サービスは大きく分けて「身体介護」と「生活援助」があります。

身体介護｜食事や排泄、入浴の介助、着替えや移乗介助、口腔ケアなど。

生活援助｜調理や食事の配膳、掃除や整理整頓、洗濯、ゴミ出し、買物代行など身の回りにおける家事の支援

＼訪問介護員（ヘルパー）より／

総合在宅ケアセンターやごろう苑　訪問介護員　菊山絵美さん

介護福祉士として介護職の経験はありましたが、訪問介護の職について2年経過します。ヘルパーは、一人での支援ですのでもちろん大変なこともありますが、利用者様の生活スタイルを尊重し、寄り添い、個別ケアができるのが魅力です。また、人生の大先輩のいろんなお話、子育てや料理、掃除の仕方など学びもとても多いです。今後も責任とやりがいを感じながら支援していきたいと思います。

曽於市社会福祉協議会　登録訪問介護員　馬庭浩子さん

ヘルパーの仕事は、多岐に渡り、高齢者や障がい者の方が自立して生活できるように毎日の生活を支えるということは簡単なことではありません。けれど、その分大きなやりがいを感じることができる仕事でもあります。利用者様の「ありがとう」「助かります」の暖かい言葉に支えられ、笑顔に幸せな気持ちをもらい、少しでもお役に立つことができた時の喜びは忘れられません。介護は心のつながりです。その方が生きてこられた人生を尊重し、学ぶことで、自身も成長していくことができています。

訪問介護は、1人の利用者様と深く関わるため信頼関係が生まれ、寄り添ったケアができることで、やりがいや仕事の喜びを感じて働くヘルパーが多い仕事です。また、利用者様の生活のサポートだけでなく、家族の介護負担の軽減にも役立つニーズの高い仕事です。住み慣れた家や家族のもとで、安心して暮らしたいという想いをサポートするために欠かせない介護サービスの1つです。

※各事業所で訪問介護員を募集しています！興味のある方はぜひお問い合わせください

曽於市内の訪問介護事業所	住所	電話番号	担当者名
総合在宅ケアセンターやごろう苑	大隅町岩川5515番地	099-482-5974	稲留
そお鹿児島農業協同組合	末吉町諏訪方8000番地1	0986-76-6900	大村
輪光無量寿園訪問介護事業所	末吉町岩崎971番地1	099-482-5100	広山
ケアステーションすえよし	末吉町上町4丁目7番地5	0986-76-3181	今鶴
末吉ヘルパーステーション	末吉町栄町2丁目12-1	0986-76-0262	吉永
訪問介護センターオアシス	末吉町南之郷4354番地2	0986-28-8146	重留
曽於市社会福祉協議会訪問介護事業所	財部町南俣504番地1	0986-72-0460	久保田
ケアサービス豊笑　※新規事業所	末吉町諏訪方1990番地	0986-77-1687	中野

福祉のまちづくりのため社協会員(会費)へのご協力をお願いします

令和5年度 社協会員を募集します

社会福祉協議会（社協）は、社協の使命や趣旨、事業にご賛同いただく住民や、法人・団体に会員として支援をいただきながら運営されている民間の福祉団体で、社会福祉法第109条に基づき、住民、法人・団体の参加・協力をいただいて、地域福祉の推進を図ることを目的としています。本年度も、曽於市の福祉を推進するため、社協会員にご加入をよろしくお願いします。

私たちの地域福祉活動は皆さまからの会費で支えられています

一般会員 年額　250円

※自治会を通じて各世帯にお願いしています。

賛助会員 年額　1,000円以上

※個人の有志の方にお願いしています。

特別会員 年額　1,000円以上

※団体、事務所、事業所等などにお願いしています。

曽於市社会福祉協議会では、「**人と人とのつながりを大切に　地域と共に歩む**」を進めるために、会費などを財源に、関係機関と連携を図りながら、地域福祉事業や在宅福祉サービス事業、ボランティア活動の支援・育成や福祉教育など様々な事業を展開しています。

5月は赤十字会員増強運動月間

赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社では、毎年5月を「**赤十字会員増強運動月間**」として、赤十字運動に参加し支えていただく会員の募集と赤十字事業に必要な会費（活動資金）へのご協力を広く呼びかけています。日本赤十字社が行う**災害時の救護活動や救急法等の講習、青少年の育成など様々な活動**は、全て会員の皆さまの会費に支えられています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

皆さまへのお願い

皆さまには、年500円以上を目安としたご協力をお願いいたします。

※年2,000円以上のご協力いただいた会員は、**ご希望により**日赤の運営参画の支援者として登録いただき、広報誌などを通じて情報提供させていただきます。

Q　日本赤十字社と自治会の関係は？

A　毎年、自治会の皆さま方には活動資金の募集にご協力いただきありがとうございます。日本赤十字社は、地域福祉やボランティア活動、防災セミナーなど地域に根差した活動を行っており、また、災害が発生すると、自治体や地域住民の方々と協力して救護活動を展開しています。災害時に共に助け合い、困難を乗り越えられる地域社会を作るため、自治会活動を応援しています。

＼令和４年度　赤い羽根共同募金助成事業報告／

令和４年度も赤い羽根共同募金を財源とする助成を受け、地域福祉の推進に取り組みました。
皆さまの善意により寄せられた募金を活用させていただきましたことに心より感謝申し上げます。

01　ささえあいネットワーク事業

住民590名の在宅福祉アドバイザーと民生委員・児童委員の連携、自治会長や近隣住民等の参加により、日常的な見守りや安否確認など活動していただきました。
特にコロナ禍において孤独感の解消や地域とのつながりなど高齢者等の安心した在宅生活の支援につながりました。

02　子育て支援事業

地域で活動する子ども・地域食堂の活動を財源の面から支援し、子どもや子育て世帯との顔の見える関係づくりや抱える困りごとの把握、地域住民同士のつながりづくり等の活動の充実を図りました。
また、子ども・子育て支援関係機関・団体等のネットワークづくりを推進するため、連絡会を開催しました。

03　障がい者支援事業

そお地区障害者等基幹相談支援センターと協働による当事者研究会「ゆずゆるりの会」や障がい福祉団体とのネットワークづくり、協働による地域づくりを目的とした連絡会を開催しました。
住民、障がい者、障がい福祉団体の交流を通じた相互理解を深める機会として「ふれあいマルシェ」、生活環境を整える「お掃除サポート事業」を実施し、障がい者の在宅生活の支援を行いました。

04　ほっとサービス事業

生活の困りごとを住民同士の助け合いで支援するサービスを通じて、助け合いの機運を高め、住民による地域福祉活動だからこそ公的なサービスでは対応が難しい生活課題に柔軟に対応することで、切れ目のない在宅生活の支援を行うことができました。
また、協力会員連絡会を開催し、地域福祉活動の担い手として対人援助スキル（傾聴）を学びました。

05　ふれあい・いきいきサロン事業

サロン活動の推進や活動支援を行いました。身近な場所に集い、住民のつながりや生きがいづくりの場であるサロンは、特にコロナ禍という状況で、その必要性が発揮されました。
「終活」をテーマに開催した連絡会では、人とのつながりを持ち続けることも自分らしく生活することの一つであると考え、講演や意見交換を行いました。

06　福祉教育及びボランティア活動推進事業

市内の学校をボランティア協力校に指定し、連絡会の開催や福祉教育出前講座など年間を通じて協働で福祉教育の推進に取り組みました。また、小学生を対象に「ふくしワークショップ」を実施し、「ふくし」や「おもいやり」について学ぶ機会としました。

07　居場所づくり事業

男性の介護者や経験者の方が同じ立場同士で語り合い、思いを共感し合える場や一人暮らし男性の食の自立と地域参加の促進を図る場づくりに取り組みました。

事業費計 4,727,413円

スマホ初心者に役立つ講座を開催

やさしいスマホ講座　3月17日
財部保健福祉センター

スマートフォンの操作に自信のない方を対象としたスマホ講座を開催しました。講座の内容としては主にスマホの基本的な操作や、インターネットを使った防災や福祉に関する情報の入手方法、QRコード読み取りアプリや時刻表といった便利なアプリの使い方について学びました。また、今回2名の専門学生に指導者として講座に参加していただきました。参加者の皆さんは初め不安そうな様子で受講されていましたが、学生の丁寧な説明もあり、次第に笑顔で質問をする様子も見られました。参加者と学生が講座を通じて交流することでつながりをつくることや社会福祉協議会の事業について理解を深めていただくことができました。

地域のこれからを考える

校区社会福祉協議会連絡会　2月6日
財部保健福祉センター、大隅弥五郎伝説の里

2会場で開催し、支え合いの地域づくりについて振り返りを行い、各校区社会福祉協議会の活動の情報共有、地域課題の現状、これからの活動の展望について語り合いました。
地域のつながりの希薄化、サロンの減少、災害発生時の備え等、意見交換を行いました。一人ひとりの生活のしづらさに気づき、その解決に向けて認知症サポーター養成講座の受講、コミュニティ協議会や公民館、学校と連携して活動を活性化していきたい、地域でのサロン、体操教室等にて人の集まりを作ることで、ふれあい・見守りにつなげたい等今後の具体的な取り組みについて共有できました。

ちいきのうごき

地域のみんなで福祉教育を推進

令和4年度　第2回ボランティア協力校連絡会　2月15日　財部保健福祉センター

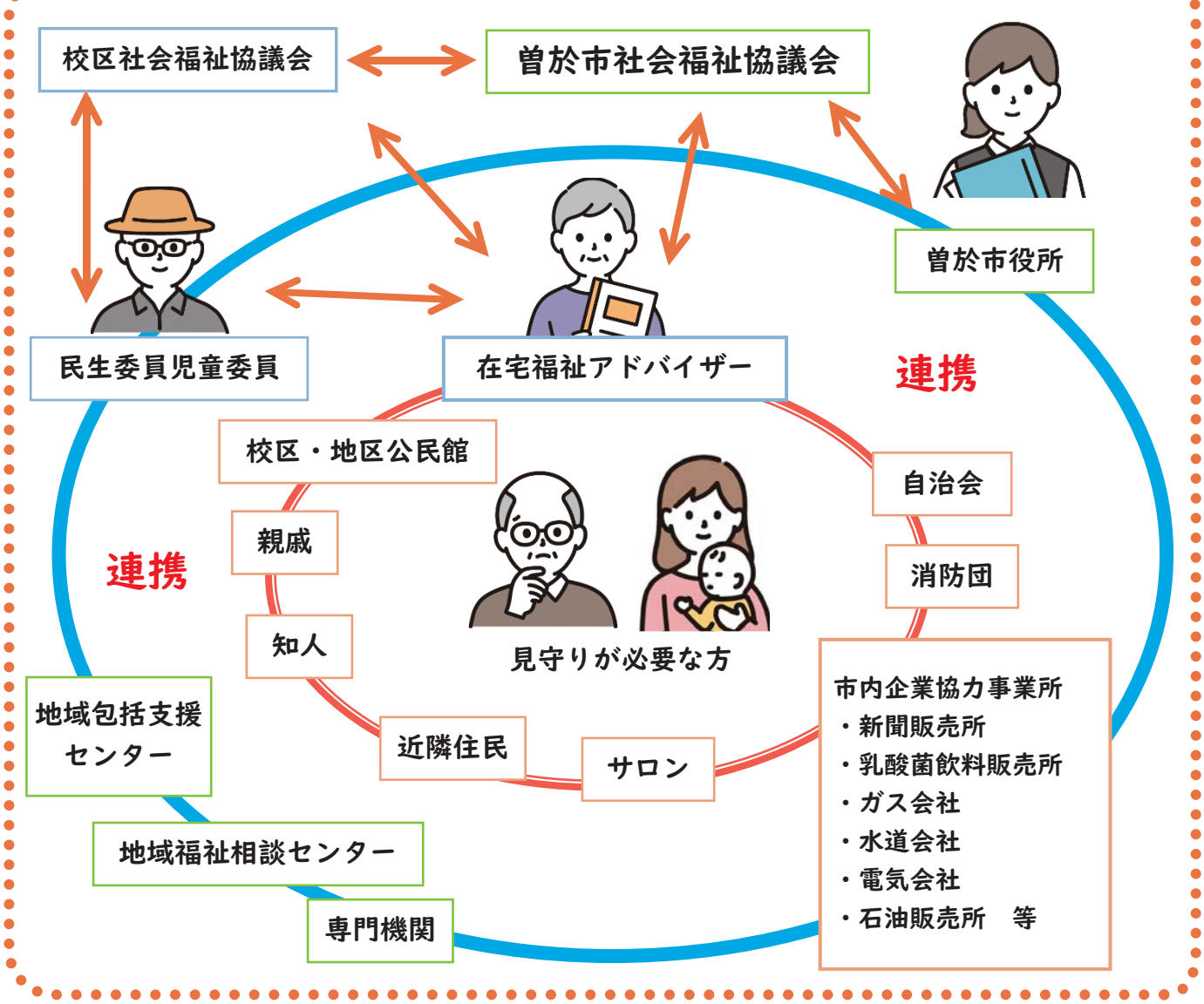
柳迫小学校 池﨑氏から福祉教育実践の発表をしていただき、福祉出前講座をきっかけに児童が実際に声掛けし合うようになり、コミュニケーションが活発なクラスになっていったことの報告がありました。
また、市役所福祉介護課地域支援係 宮原氏からは、末吉小学校で実施したそおオレンジキッズプロジェクト（児童対象認知症サポーター養成講座）について、報告がありました。認知症のことを知り、多様な生き方に触れ相手を理解しようとすることで、自分で考え行動できるようになると説明がありました。その後、福祉教育について地域の方と一緒に取り組んでよいのだという気づき、認知症の方を知ることの意味、出前講座のその後の取り組み内容についてなど意見交換をしました。

赤い羽根共同募金助成事業　皆様から寄せられた赤い羽根共同募金を財源に実施しています

ささえあいネ

社会福祉協議会は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合い、一人ひとりが地域の一員として参加し、その人らしく安心して生活することができる支え合いの地域づくりを推進しています。
少子高齢化や人口減少、家族形態の変化などが進む中、社会的孤立の増加など地域における支え合いの重要性はますます高まっています。
曽於市社会福祉協議会では、地域と共に進める地域づくりの一つとして「**ささえあいネットワーク事業**」に取り組んでいます。
ささえあいネットワーク事業は、**身近な地域における住民同士の支え合いの輪を拡げ、住民と民生委員・児童委員、専門職、関係機関等が相互に協力し合う体制づくり**を行っています。

ささえあいネットワーク組織図



身近な住民が在宅福祉アドバイザーとして、民生委員・児童委員と連携し、近隣住民の参加を得ながら、同じ地域で生活する高齢者や障がい者、子育て世帯等への日常的な声かけや見守り、最も身近な相談窓口としてつなぎ等を行うと共に、活動を通じて地域の支え合いを推進しています。
身近な地域での見守りや声かけ等があることで、早期の生活課題の発見や迅速な支援、また、住民同士の顔の見える関係づくりにつながっています。この「ささえあいネットワーク」では、市内の企業と協定を結び、見守りに参加していただいています。

ット　ワ　ー　ク　事　業

在宅福祉アドバイザーによる見守り活動の推進

在宅福祉アドバイザーは、
地域において最も身近な住民が、
民生委員・児童委員と連携しながら日常的に
声かけや見守り、安否確認などを行っています。
顔見知りの関係を活かしながら、活動を行い、
日常生活上の課題の把握や身近な相談窓口として相談を
受けたりしながら、専門職等へのつなぎを行う役割を
担っています。
また、近隣住民の参加、協力を得ることで、
地域の見守りの体制を拡げると共に支え合い
の意識づくりに取り組んでいます。

校区社会福祉協議会ネットワーク会議の開催

「ささえあいネットワーク事業」は、
地域と共に進める支え合いの
地域づくりの活動の基盤である
「校区社会福祉協議会」と協働で
取り組んでいる活動です。
26 の校区社会福祉協議会がネットワーク
会議を開催し、見守り等の活動について
民生委員・児童委員や自治会長等と
情報の共有や活動のふりかえりを
行っています。

支え合いマップづくりの支援

「支え合いマップづくり」は、
地域マップを使って地域住民が一緒
に地域に目を向けながら、地域の情報や
課題を見える化し、それらを共有しながら
一緒に地域づくりについて考える場です。
校区社会福祉協議会では、支え合いの地域
づくりの一つとして、支え合いマップ
づくりにも取り組んでいます。

在宅福祉アドバイザーの声

＊いつも「ありがとう」と言ってくださると見守りしていてよかったなと思います。
＊体調が悪い時に 7 人の方が駆け寄ってくださったので、みんなに見守られているのだなと実感しました。
＊一人になり病気になってアドバイザーの存在がありがたく感じたと言われ、体調は万全とは言えないが家での生活がありがたいと感じていらっしゃる。

地域で取り組まれている「ささえあいネットワーク事業」や「支え合いマップづくり」など支え合いの地域づくりへの皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

ほっとサービス（住民参加型福祉サービス）のご紹介

買い物をするにも交通手段がないし、お墓参りや掃除もできてない。ゴミ出しにいくのも足が痛くて大変。

地域には困ってる人がたくさんいるけど、自分たちでなにかできることがないかなぁ。

＼そんなときは／

ほっとサービス をご利用ください！

ほっとサービスは、こうした住民の思いを形にした地域福祉活動です。サービスを利用する人も提供する人も同じ地域に住む住民同士。

“みんなでお互いに助け合っていこう”という趣旨で行われる、**会員制の有償サービス**です。

＼よくある質問／

Q1 誰でも利用できますか？

A1 誰でも利用できるわけではありません。高齢者や障がい者、その家族、子育て世帯等で、福祉サービスを必要とする人が対象となります。

Q2 協力会員として登録したいのですが、介護や福祉に関する資格が必要ですか？

A2 18歳以上の方で、地域福祉活動に理解と熱意のある方でしたら、資格の有無に関わらず、協力会員に登録いただけます。サービスの内容は、ボランティア活動で提供できる範囲の内容となります。有資格者の登録も大歓迎です。

＼サービスの内容／

■受付日時

月曜日から金曜日まで（※祝祭日は除く）
午前9時から午後5時まで

■サービス実施日時

月曜日から土曜日まで　午前8時から午後5時まで

■サービス利用料

30分まで300円
（以後10分を超えるごとに100円を加算）

■自家用車使用料

20円／km（※協力会員の車の燃料代です。協力会員の車に同乗することはできません。）

■サービス内容

家事援助（ゴミ出し、買い物代行、電球交換など）
外出援助（墓参り、通院、散歩の付き添い）
話し相手　その他

■会員登録

登録料は**無料**です。
サービスをお願いする人も、協力してくださる人も登録が必要です。

曽於市社会福祉協議会へご相談ください。

＼サービス利用の流れ／

1. 依頼会員が支援してほしいことを社協に連絡
2. コーディネーターは、依頼会員の内容に応じて協力会員の派遣の調整を行う
3. 協力会員に内容・支援日等をお伝えする依頼会員に調整の結果をお伝えする
4. 支援日にサービスを実施

新規採用職員紹介

令和５年４月１日付で本会に２名の職員が採用されました。

渡辺　このみ

末吉支所勤務
曽於市地域包括支援センター
保健師

角田　みどり

大隅支所勤務
地域福祉課事業係
小規模多機能ホーム
より愛さかもと
看護職員兼介護職員

第１９回曽於市社会福祉大会

福祉作文・福祉ポスター募集

テーマ「おもいやり」

誰もが幸せに暮らせる地域をつくるには、みんなが支え合い、助け合っていくことが大切です。
それは、一人ひとりが「おもいやり」の心をもって、表現することです。
曽於市社会福祉協議会では、そのような福祉のまちづくりを進めるに当たって、支え合いの意識の高揚と啓発を目的に作品を募集します。

応募資格　曽於市内の小・中・高等学校の児童、生徒
応募要件　作文　400 字詰め原稿用紙　3～5 枚（小学生は 3 枚以内）
ポスター　B3 判または四切判
応募期間　令和 5 年 5 月 8 日（月）から
令和 5 年 6 月 16 日（金）
提出先　在籍する曽於市内の小・中・高等学校

お問合せ先
曽於市社会福祉協議会
地域福祉課
TEL：0986-72-0460

無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：**無料**(相談者からはいただいておりません)
※1 回につき相談時間は30 分以内
○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
○お問合せ先：
ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸
鹿児島市山下町 12 番 17 号 2 階
TEL：**099-227-0041**(受付：平日 9 時～ 17 時)

○相談日時及び会場：

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**7 月 20 日** (13 時から 16 時まで)
そお生きいき健康センター	**5 月 18 日** (13 時から 16 時まで)
大隅弥五郎伝説の里	**6 月 15 日** (13 時から 16 時まで)

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：**無料**(相談者からはいただいておりません)
※ 1 回につき相談時間は 30 分以内
○申込・受付方法：先着順、事前電話予約可
○お問合せ先：
弁護士法人 大隅広域ディフェンダー
藤尾法律事務所 末吉支所
曽於市末吉町本町 1-4-5　TEL：**0986-51-9830**

○相談日時及び会場：

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**6月 13日、7月 11日、8月 8日** (13 時から 15 時まで)
大隅弥五郎伝説の里	**5月 16日、6月 20日、7月 18日** (18 時から 20 時まで)

たくさんの善意に感謝いたします

曽於市社会福祉協議会では、ご寄付を曽於市民の皆様の地域福祉向上のために大切に使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。

香典返し寄付金（敬称略）

（令和5年2月1日～令和５年4月30日）

財部地区

莚平康子	田代
戸越由美	馬立
久保アヤ子	七村
蓮香成子	元阿邪里
西帯野昭子	上帯野
徳丸博文	七村

大隅地区

西村涼子	新坂元
谷口ヤエ	紺垣
成尾百合子	東桜ヶ丘
吉森アサ子	菅牟田
加塩ヒデ子	花白
樺山安郎	八合原
渡邊久美子	
隈元浩幸	久木山
田代悟	折田
前田タエ	上馬場
花牟禮馨	入角
野村忠男	岩川本町
吉田辰夫	伊屋松
溝口良久	飛佐
中村節子	東桜ヶ丘

末吉地区

青山道則	見帰
佐多静子	上町
向田伸一	南法楽寺
前原ヤツ子	森田上
竹下トシ子	池山
津留信久	川内中
猪俣マサ子	通山
立元宏旺	西中野
寺薗武志	寺薗
安荘明男	
豊留ミチ子	
榮森洋海	飯塚
福岡ヨツ	祝井谷
宝蔵弘二	菅渡中
安荘詔子	橋野下
稲留正文	和田
吉川フミエ	麓
匿名　１件	

寄付金は、曽於市の地域福祉の推進のために、大切に使わせていただきます。多額のご寄付をありがとうございました。

一般寄付金品（敬称略）

（令和5年2月1日～令和５年4月30日）

財部地区

曽於市活性化協議会	209,754 円
曽於市５団体	110,891 円
橋本　絹代　高塚	30,000 円

末吉地区

竹内　昭　掛上	3,000 円
竹内　政子　掛上	3,000 円
大園　征郎　中高松	3,000 円
匿名　２件	

大隅地区

匿名　１件

曽於市活性化協議会と曽於市、曽於市商工会、曽於市森林組合、株式会社ナンチク、そお鹿児島農業協同組合の５団体より寄付

社協公式 SNS

地域福祉の様々な情報をお届け！

公式 LINE　Instagram

インスタグラム開設しました

ご意見をお寄せください

曽於市社協情報紙へのご意見窓口を開設しています
ぜひご意見をお寄せください。

職員より

新年度も早いもので一か月が過ぎました。この間、桜が咲いていたかと思えばもうすぐ梅雨がやってきます。４月は公私においてバタバタと忙しく過ごされた方が多かったのではないでしょうか？
曽於市社協でも新規採用職員が入職し、新体制での業務がスタートいたしました。今年度も皆様と共に地域福祉の推進に曽於市社協一丸となって取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。　S.S